

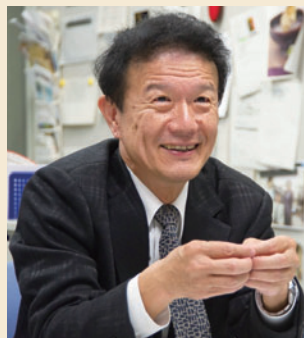
# 研究成果

## 八戸サテライト開設記念「もち小麦特集」

# もち小麦を活用した商品開発について

### ●もち小麦について

もち種の小麦が創出したことは驚きでした。15年前に官報で知り、もち小麦のでん粉特性の研究をはじめました。その後、本学に着任し、保健医療福祉の領域でのもち小麦の応用研究へと展開しました。つるつとした餅の食感を持つもち小麦を、高齢者から子どもまで、いわば「食のバリアフリー」を実現できる食材として応用することは、少子高齢社会に大いに貢献することになります。



研究推進・知的財産 センター長・  
栄養学科教授

藤田 修三（ふじた しゅうぞう）

そこで、産官学の連携により、平成21年11月もち小麦商品開発研究会を発足させ、農家、企業、関係機関の協力のもと、現在、地元のオリジナル商品の開発を進めています。

もち小麦商品をより多くの方に知ってもらうため、また東日本大震災の被災地への継続的な支援という本学の方針の下に、学生のボランティア活動だけではなく、10月20日、八戸市に本学サテライト事業所を開設しました。



### ●商品について



現在、もち小麦は、せんべい、マドレーヌの商品化に始まり、様々な商品に活用されています。先日新宿高島屋で行われたイベントでは、もち小麦を使った南部郷土料理「かつげ」が好評で、完売といううれしい結果となりました。また、テレビや雑誌でも取上げていただいたことから、興味をもっていただいた方からも多くの声を寄せていただいております。

●お問合せ／地域連携推進課 担当 寺田 TEL 017-765-4085 E-mail [kenkyu@auhw.ac.jp](mailto:kenkyu@auhw.ac.jp)

## 認定看護師教育課程



地域連携・国際センターでは平成17年度から救急看護認定看護師教育課程、平成21年度からがん化学療法認定看護師教育課程を開講しています。認定看護師とは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができる者として、日本看護協会が認定した教育機関で所定のカリキュラムを修了した後、同協会が審査し認定しています。認定看護師は、看護現場において、実践、指導、相談の3つの役割を果たすことにより、看護ケアの広がりや質の向上に貢献しており、現在21の分野があります。

救急認定看護師は、救急外来や救命救急センター、重症の患者に濃密なケアを提供する集中治療室（ICU、CCU）などの他、フライトナースや災害時派遣医療チーム（DMAT）にも属し、救急医療の中での役割が期待されています。また、がん医療については、がん治療に携わる医療従事者の育成について青森県のみならず全国で期待されており、がん化学療法を受ける患者、家族に対して個別的、全人的かつ専門性の高い看護の推進に寄与したいと考えています。